

令和8年度第1回やない市民活動センター評価委員会（要点筆記）

日 時：令和8年7月16日（木）午後3時30分～午後5時

場 所：みどりが丘図書館 スタジオ2

出席者：評価委員：弘田委員長、大野副委員長、川嶋委員、三戸委員、吉光委員

高崎委員、桧垣委員 木本委員

事務局：藤村総合政策部長、守田センター長（地域づくり推進課長）、西本課長補佐、

宮本主幹、浅海相談員、佃相談員

1 開会（午後15時30分）

令和8年度第1回やない市民活動センター評価委員会の開会

2 委員長あいさつ

・委員長あいさつ

資料が事前にお手元に届いていると思う。それを読んでこられたものとして進めていく。

評価委員会のありかたについてもお話ししながら進めていきたいと思う。

3 令和7年度第2回においていただいたご意見についての報告

センター長による報告（別紙参照）

4 議事（委員長の進行による）

（1） 令和8年度やない市民活動センター運営状況報告について

事務局から資料p2（別紙p1、2）について説明

＊令和7年度新規登録団体は11団体であることを訂正。（柳井演劇鑑賞会が重複していたため）

＊4～5月利用件数、登録団体内訳について、スタジオ利用は利用登録団体に限った数値であること。一般対応は市民活動についての問合せとスタジオ利用をそれぞれ分けて集計している。

＊追加資料（カラー刷り）について、スタジオ利用のうち登録団体のスタジオ利用は20％である。

（2） 令和7年度やない市民活動センターの活動について

事務局から資料p3～8について説明について説明

＊ 9月の市民活動講座については現在調整中。

＊ 11月のファシリテーション基礎講座は10月10日実施予定、第5回「仲間を増やそう～」はタイトルを変更して10月31日開催予定、11月29日には観光振興をテーマとした講座を開催予定。

＊市民活動交流スタジオでテスト的に9月20日に実施を考えている企画「活動の魅力を伝えてみませんか」（資料p. 8）について説明。現在1団体から参加の意向を伺っている。

＊みどりが丘フェスタ2026について（追加資料 みどりが丘フェスタ2026実施要領）昨年度はセンター主催で市民活動フェスタとして開催したが、今年度は柳井市（地域づくり推進課）と柳井市教育委員会（柳井図書館）の共催事業として館をあげて開催する予定。開催時間は集客状況を鑑みて11時からとした。開催場所は昨年度の場所に加え、スタジオ4も会場とする。芝生広場のテントブースについては天候と集客を鑑みて場所を通路に面したところに設置する予定。スタジオ2については市民活動講座を実施予定のため、11月1日のみ登録団体による体験・ワークショップの会場とする予定。

5 質疑応答

委員長：評価委員会は年2回、それ以外にも委員長が声をかけたら集まることもある、でよいか。

センター長：評価委員会として集まるのであれば報酬のことなどもあるので、みなさんがどのような形で集まることができるのか、というところだと思う。

委員長：評価委員会の立ち位置については資料をよく読んで次回以降も話ができたらと思う。
ご意見があれば挙手にてお願いする。

委員：スタジオ4について、何に使うと思われるか、どのような団体があるか。

事務局：想定しているのは昨年のスタジオ3と同じような使い方、ワークショップや体験などの会場として使うことを想定している。

委員：スタジオ4はスタジオ2、3と違い、室内の音が筒抜けでうるさい。室内で和気あいあいと盛り上がると来館者に迷惑がかかる。実際に自分も使ったときなどに音漏れを実感した。静かめの活動をする団体にしたほうが良いと思う。大和良子さんの講座は午前移動させることは不可能か。午後はスタジオ2を他の団体に使ってもらった方がよいのではないかな。沢山の団体に参加してもらうためには、スタジオ2が使えた方がよい。午前中に講座で集客しておいて、来館者に午

後の催しも楽しんでもらうようにすればいいのではないかな。

委員長：フェスタは11時から開催なので講座を午後からに設定したのか。

事務局：先方と交渉中なので時間を変更できるかもしれないが、確約はできない。

委員長：交渉をお願いします。

事務局：内容を詰めている段階であるので、この場でお答えすることは難しい。

委員長：スタジオ4についてはどうか。

事務局：出展の申込状況をみて調整したい。

委員：集客を鑑みて11時から開催とおっしゃったが、10時からでも良いと思う。スタジオ2は利用価値が高いのに講座のために一日空けておくのはもったいない。音響（発表ステージ）は必要なものはオープンエリアに持っていくことはできないのか。オープンエリアはうるさいから使えないのか。

事務局：テントブースを設置するのでにぎわいの創出を考えると南側に固める方が良いかと考えていた。オープンエリアの使用がダメなわけではない。本を読みに来る方がおられるので、若干音が気になるかもしれないという話も出たこともある。

委員：前はテントブースが芝生広場の奥にあり、ステージからは遠くにぎわいがリンクしていなかった。今回はコンパクトにするということであれば良いと思う。

事務局：通路側にテントブースを設置する予定にしている。去年は遠すぎてテントブースまで客足が伸びなかった、また風の影響も受けたので、ステージもテントブースも近いところで楽しめるようにしたいと考えている。

委員：去年は電源についても困った。容量が足りず困ったので、その点も考えていただきたい。実行委員会を作らないのであれば、図書館とセンターと団体の代表でもいいが、話し合いがもたらよいのではないかな。プロジェクトチームのような。集まって協議することも大切なのではないかな。協働という形をとるのであれば、事前の準備の段階から一緒に作っていくために、初めに集まる場を作るべきではないかな。

委員長：前回は実行委員会について話がでたが、先日議員が質問されたときに、「今回は実行委員会を作らない」と回答があったとある議員から聞いた。あっているか？

センター長：地域づくり推進課にお問い合わせいただいたので市の主催事業として実施する、ということはお伝えした。

委員長：その話を聞いたので、実行委員会は作らないのだ、と解釈した。「協働のまちやない」とよく市

長はおっしゃられるので、本来は実行委員会をつくればいいのではないかと考えている。これは評価委員全員の総意ではないかもしれないが、意見として伝えさせていただく。

今回は実行委員会はなしだが、今後についてみなさんどう思われるか。

副委員長：去年も一昨年も市が主催で行った。今回も実行委員会はないようだが、このような意見もあるので、密接に連絡を取り合い協力していける方法を考えてもらいたい。

委員長：協働のまちと謳われるからには、自ら動こうとしている人の力も使っていただいた方がよいのではないか、というのが評価委員の一部の人の意見である。後ほどまた他の委員の方の考えを伺いたい。次のフェスタの準備の際にはこのような意見があったことにも留意いただければ。

委員：フェスタのアンケートの資料について、おおむね全体良いという意見だったが、フェスタについてどう思ったかという問いに対して、わからないという答えが多かった。フェスタで何をやるのかわからないと思われているのではないか。フェスタをやるからには、キャッチコピーのようなアピールするものが前面にでると良いのではないか。

事務局：おそらくわからないと答えられた団体の大半はフェスタに参加されていない団体と思われる。

委員長：参加をされていない団体にもアンケートを取ったのか。

事務局：全団体にお願いした。市民活動センターの運営に関する設問と、フェスタに関する設問との2本立てで全団体にアンケートを取っている。

委員長：わからないと答えた団体は全体の何%なのか。

委員：約35%である。

委員長：わからないと答えた団体の多くはフェスタに参加しなかった団体と把握されているのか。

事務局：傾向としてそのように把握している。

委員：フェスタが終わった直後に参加団体の意見を聞く場として、反省会等を設けていただきたかった。今結果が出てきても今回のフェスタには意見が反映できない。

委員長：反省会をしないと次回に生かせないので、フェスタの開催直後に反省会を行い、その次の計画に練りこんでいただきたい。

事務局：今回のアンケートでは、実施時期は適当か、みどりが丘図書館を会場としたことについてはどうか、という設問をしている。その結果おおむね開催時期や会場についてよかったという評価をいただいたので、今回この日程で予定を立てている。

委員長：今回のフェスタが終わって、タイムリーに聞き取りなり、反省会なり行った方がよいのではない

か、という意見があった。意見として受け止めていただければ。

委員：集まるのが難しいのであれば10日・20日を利用すれば負担が減るのではないか。

委員長：3月の評価委員会の時に、フェスタについての結果を振り返ることができたらよいのでは。

委員：出演者を固めてもらいたい。なるべく詰めて演奏するようにしてもらいたい。固めてもらったら前後の団体の発表もお互いに聞けるし観客にも聞いてもらえると思う。

委員長：去年は観客が少なくもったいなかった。

事務局：来館者が多い時間帯にステージ発表もかためられたらと思う。

委員：出展する団体が決まったら関係者会議を持てばいいのでは。実行委員会のような大きい会はいらないので、自分の出番に近い団体で調整ができればいいと思う。去年は個別に調整をした。

委員：8月2日に説明会をする予定にされているが、30日が参加申込締切なので、そのあと説明会では遅いのか。

課長補佐：8月2日はあくまでフェスタの内容に関する説明会である。

委員：去年は説明会の後、話し合いが無かった。当日に向けて話し合いの場を持つべきではないか。

委員長：説明会をされた後、出展団体同士での打ち合わせの場を早めに設けていただければ。

※ 昨年度は、令和7年9月28日（日）に、文化福社会館において出展予定者による企画検討会議を実施しています。出展エリアごとに分かれて打ち合わせ等を行っていただきました。今回も同様の会議を予定しています。

委員：交柳プラスが月曜日に届いた。その際に大和さんの講座のことを知った。去年参加された団体から、出展の時間が短すぎて、すぐ片づけなければならなかったという声を聞いている。また前回は防災の講座を聞いたかったが自分のブースの出展があったので参加できなかった。今年は1日目がスタジオ2が講座以外のことには使われないのはどうかと思う。特別講座をわざわざフェスタに盛り込まなくても良かったのではないかと感じた。場所がないのであればスタジオ1の活用も考えてほしい。ふり返りも早めにしていただきたい。

委員長：11時からの開催ではなく、10:30からの開催にしたらどうか。午前中に講座を行い午後から出展にしてもよいのでは。催しを詰め込みすぎない方がよいのではないと思う。

委員：去年は、ブースの片付けでばたばたしたところと、観客のいないところがはっきりしていたよう

に感じた。みなさんがまわれるような動線配置になればいいのでは。

委員：MCが無かったように感じた。館内放送を活用するなどしたらよいのではないかな。

事務局：催しの案内アナウンスは行っていなかった。

委員長：去年は観客がおらず、発表の方々が気の毒な感じだった。ご意見として受けとめていただければ。

委員：交柳プラスの5月号に桜土手まつりの記事が載っていたが、どの団体が参加されていたか不明であった。活動団体の活動されている写真と団体名は載せてほしい。また字遊の会の書展については、令和7年度に脱退された団体なので紹介は必要ないのではと感じた。花香遊の関連イベントでもたくさんの登録団体が活躍している。それぞれの活動を取りあげていただきたい。公平でバランスの取れた掲載をお願いしたい。

図書館のオープン時にギャラリーについては図書館、カフェ前の展示棚についてはセンターと伺った。それからあそこに飾られたのは八幡窯さんと柳井縞の会さんの2団体と記憶している。

100数団体ある団体の紹介に片方の棚だけでも使えないものか。順に活動紹介をすればよい。

委員：カフェ前の展示棚はセンターのものなのか。

事務局：厳密にいうと市民活動センターが管理する棚ではない。館全体としてどう使うかを協議して決めている。

委員：その棚の下戸棚には市民活動の資料があるが、なぜあそこにあるのか。

事務局：年度初めに情報コーナー下の棚と引き出しに移し替え、ありがたがわかるように表示をつけている。

副委員長：開館当初はカフェ前の展示棚は市民活動センターが使えると説明を受けた。当初は掲示板がないなどの問題もあった。内部調整をしっかりといただきたい。

6 総合政策部長あいさつ

お忙しい中ご参加いただき感謝申し上げます。よりよくしていくために今後ともご協力たまわりたく思う。

閉会（午後5時00分）